



### 横浜市のプロフィール

人口	3,741,317人	(2019年4月1日時点)
世帯数	1,700,306世帯	(2019年4月1日時点)
集積場所数	75,284か所	(2019年3月末時点)
収集回数	◆燃やすごみ、乾電池、スプレー缶、燃えないごみ：週2回 ◆缶・びん・ペットボトル、プラスチック製容器包装、小さな金属類：週1回 ◆古紙・古布：資源集団回収により回収 ◆粗大ごみ：申込み制(有料化)	

### ごみ収集の歴史(1920年代後半～)

- 大正7年(1918年)  
横浜市によるごみ収集が始まる
- 処理方法は、海面埋め立てと千葉方面への搬出(肥料として)

### ごみ収集の変遷(1940年代後半～)

- ごみ箱を12世帯に1個の割合で設置し、地域に応じて、3～7日に1回の頻度で収集。
- 地域毎に集めてトラックに積み替えて、最寄りの埋立処分場に搬入。
- 分別収集はないが、鉄・銅屑、びん等の有価物を選別する廃品回収は行われていた。

### ごみ収集の変遷(1940年代後半～)

- 当時の焼却工場は戦火による破壊等で使用不能のため、全て埋立処理を行っていた。
- 悪臭や害虫対策として消毒剤を散布して、覆土処理を行っていた。

### ごみ収集の変遷（1960年代～）



- 清潔な街づくりを目指し、ウジ、ハエ、悪臭等の影響が出ないうちにごみを収集し、街路からごみ箱をなくすため、ごみの集積場所を設置。
- 現在のステーション方式による収集方式に移行。

### ごみ収集の変遷（1970年代～）



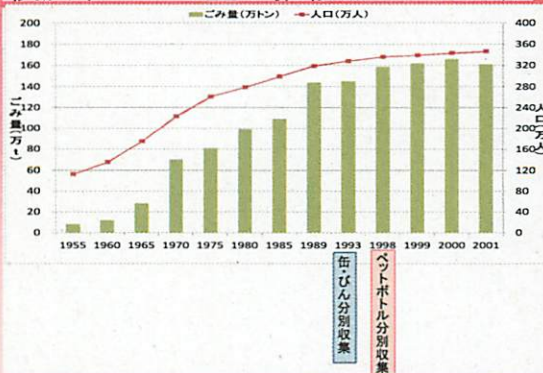
- 高度経済成長により、人口の激増、物質の豊かさや所得の向上に伴い、大量消費時代へ突入。ごみの排出量が爆発的に増加。
- プラスチック製品やテレビ、洗濯機、冷蔵庫等の粗大ごみへの対応も必要となるなど、ごみは大きな社会問題へと発展。

### ごみ収集の変遷（1970年代後半～）



- 効率的、衛生的、無公害を目標にした焼却工場の建設を進め、家庭から排出されるごみの全量焼却処理体制を完備。
- 最終処分場の確保が困難になるなどの問題もあり、ごみの資源化、減量化の取組が進められるようになった。

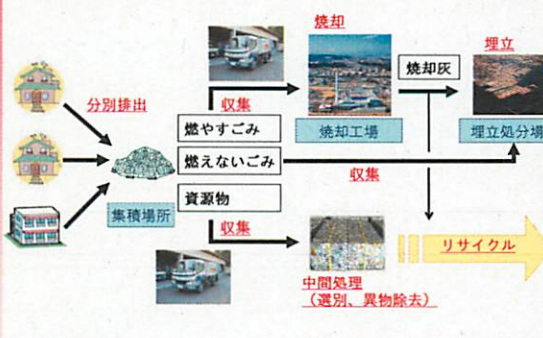
### 横浜市のごみ量の推移（1955～2001年）



### 家庭ごみ分別品目（10分別15品目）



### 家庭のごみと資源の流れ



### 分別の普及に向けた市民啓発

#### ○住民説明会による啓発



■職員が昼夜、休日を問わず、地域の住民説明会に参加し、分別啓発を行っている。

■自治会・町内会単位できめ細かな啓発が可能。

### 分別の普及に向けた市民啓発

#### ○集積場所での啓発



■集積場所に、ごみや資源物を出しにくる住民に、直接啓発を行う。

■住民説明会に参加しない住民への啓発が可能。

### 分別の普及に向けた市民啓発

#### ○未分別ごみの取り残し



■分別されていないゴミ袋については、注意ステッカーを張って、集積場所に取り残すことで、ごみを出した人に注意を呼び掛けている。

← 注意ステッカー

### 分別の普及に向けた市民啓発

#### 店頭における啓発



■ショッピングスーパーの店頭にて、分別啓発を行う。

■若年層から高齢層まで、様々な世帯への分別啓発が可能。

### 分別の普及に向けた市民啓発

#### ○地域イベント等での啓発



■サッカースタジアムで開催されるイベントや、地域のお祭りなどで、分別啓発を行う。

■人が集まりやすく、子供から大人まで幅広い層への分別啓発が可能。

### 分別の普及に向けた市民啓発

#### ○小学校等での啓発



■小学校に職員が出向き、授業の一環として、分別啓発を行う。

■子供に分別ルールを理解してもらい、各家庭で分別を実践してもらおう。

### 分別の普及に向けた市民啓発

○広報印刷物の活用

■ごみと資源物の分け方・出し方（全戸配布）

分別・排出方法を解説するとともに、収集曜日が書き込めるようになっている。

パンフレット リーフレット

### 分別の普及に向けた市民啓発

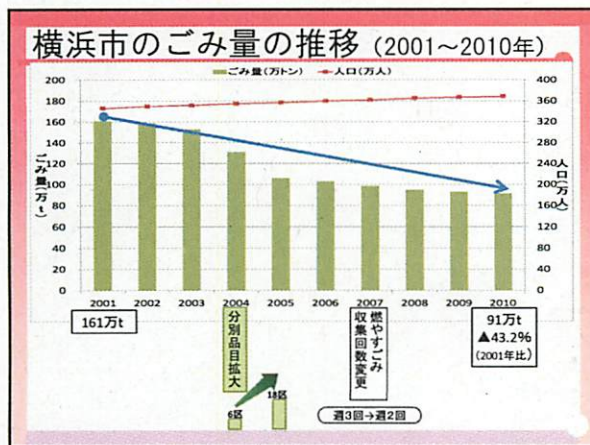
○インターネット、スマートフォンの活用

■分別辞典【Mictionary】

インターネット上の検索サービスで、品目を入力すると、該当する分別が表示される。

■スマートフォンアプリ

分別の説明、分別検索機能、収集曜日のカレンダー設定などの機能を有している。



### 分別収集の効果

①焼却工場の廃止・休止

7つの焼却工場のうち、**2工場を廃止、1工場を休止**

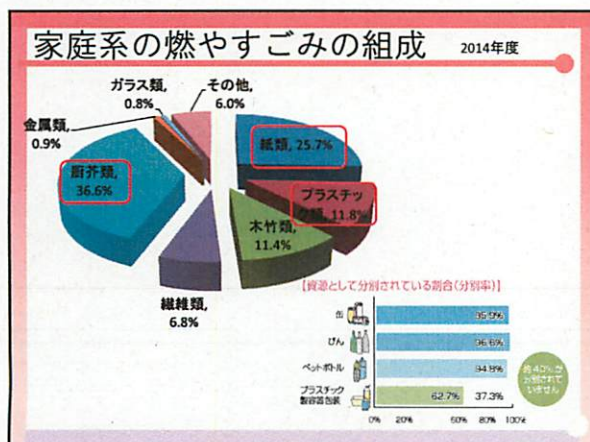
- 栄工場(1,500t/日) ⇒ 2005年10月廃止
- 港南工場(900t/日) ⇒ 2006年11月廃止
- 保土ヶ谷工場(1,200t/日) ⇒ 2010年4月休止

②最終処分場の延命化

埋め立てる**焼却灰の量も大幅に減少**

↓

不足することが予測されていた最終処分場が**大幅に延命化**



### 計画の変遷

焼却・埋立 + 分別・リサイクル + リデュース・リユース

3Rによって更なるごみ減量と脱温暖化に取り組み、豊かな環境を後世に引き継ぐことで、子どもたちが将来に「夢」を持つことができるまち・横浜の実現を目指します。

**スリム**  
**ヨコハマ3R夢プラン**

横浜市一般廃棄物処理基本計画  
平成22年度-令和7年度



「ヨコハマ3R夢」マスコット「イーゴ」

G30のその先へ **ヨコハマ3R夢**！ スリム

**ヨコハマ3R夢プランの基本理念**

市民・事業者・行政が更なる協働のもと、3Rを推進するとともに、なお残るごみを適正に処理することで、限りある資源・エネルギーの有効利用と確保に努め、環境モデル都市として、環境負荷の低減と健全な財政運営が両立した持続可能なまちを目指します。

計画期間  
平成22年度～令和7年度



市民  
事業者  
行政  
環境負荷低減  
G30を標に

**ヨコハマ3R夢プランの目標**


**第2期推進計画**  
(平成26年度～平成29年度)

**ごみと資源の総量**  
平成21年度比 **5%以上削減**

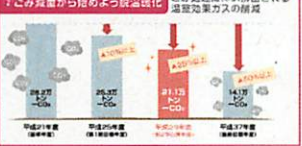
**温室効果ガス排出量**  
平成21年度比 **25%以上削減**

※市長以下全区・局・統括本部長が出席する「ヨコハマ3R夢」推進会議(今年度は4月17日開催)において、「ヨコハマ3R夢プラン」に基づく目標達成に向けた事業計画に関すること等を、全庁的に共有しています。

1 もっとチャレンジ・サ・3R 1 1 1 1  
ごみと資源の総量の削減

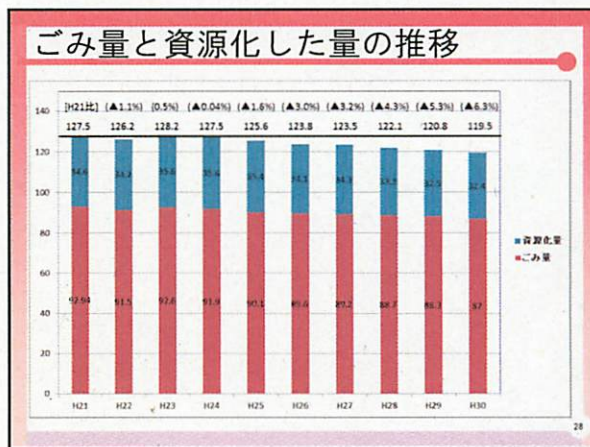


2 ごみ減量から始めよう脱温暖化 2 2 2 2  
ごみ処理に伴い排出される温室効果ガスの削減



3 ごみ処理の安心と安全・安定を追求

収容・運搬、処理、処分すべての段階で、安心と安全・安定を追求



**ヨコハマ3R夢プランの目標**

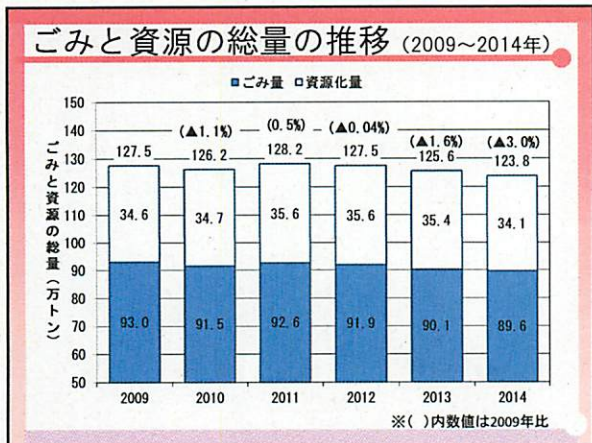
計画期間: 平成22(2010)年度～平成37(2025)年度

ごみと資源の総量  
平成21年度(基準年度) → 5%以上削減(平成29年度) → 10%以上削減(平成37年度)

CO<sub>2</sub> 26%以上削減 → 50%以上削減

- ◆もっとチャレンジ・サ・3R  
ごみと資源の総量を削減
- ◆ごみ減量から始めよう脱温暖化  
ごみ処理に伴い排出される温室効果ガスを削減
- ◆ごみ処理の安心と安全・安定を追求





### 横浜市全体のごみ量は？ (平成27(2015)年度実績)

# 892,200トン

鶴見工場の  
ごみ処理量は約27.5万トンです。  
横浜市全体の約3割を鶴見工場で焼却しています。

### H26年度～H29年度における ヨコハマ3R夢プランの取組の考え方

**その1** 新たな3Rの推進

食品ロス削減、資源の削減の観点から、リデュース、リユースの取組を進めることにより、分別・リサイクルの徹底を図るなど、新たな3Rを推進します。

**その3** 適正処理の推進

燃焼・衛生処理を推進し、安心・安全を追求したごみ処理を進めるとともに、燃焼の焼却残渣処理や埋立対策、工場ごみの資源活用等を図ります。

**その2** 新たなリサイクル手法の検討

現在、多くのが焼却処理されている小型家電、中古品、プラスチック製品等について、新たなリサイクル手法を検討します。

**その4** 分かりやすい情報の提供

皆さまに3R行動や実践していただくよう、取組の必要性や実践などの情報を分かりやすく提供します。

### 食品ロス・生ごみの削減 重点施策 Reduce

【横浜市の燃やすごみに占める生ごみの割合】

- 横浜市の家庭から出される燃やすごみの中には、年間約10万7,000トンもの食品ロスが含まれている。
- 市民1人あたりでは、年間で約28キロ、金額にすると約2万2,000円分に相当。

### 食品ロス削減の取組 Reduce

**冷蔵庫10・30運動**

期限が近い食べ物や、肉・野菜・魚などのすぐに傷んでしまう食べ物を定期的にチェックしてもらうよう、毎月10日と30日をtwitter等で呼びかけ。

**食べきり協力店**

飲食店等において、食品廃棄物の削減に取り組んでいただける店舗を「食べきり協力店」として登録し、食べきりの実践をお願いする事業を全市で実施。平成29年3月末現在743店舗登録。

**食材の使い切り・食べきりレシピの公開**

冊子、クックパッド、YouTube等で食材の使い切り・食べきりレシピを公開中！

### 生ごみ削減の取組 Reduce

**生ごみブレンドプロジェクト**

土と生ごみを混ぜ微生物により分解させる「土壌混合法」や、有機微生物を利用して分解する手法、段ボールコンポスト等により、生ごみの資源化、減量化を進めます。小学校、保育園、自治会町内会などで、食べ残し食材を使った土壌混合法による野菜づくりや花壇づくりを実施しています。パンフレットも配布中。

**生ごみの水切りの推進**

生ごみの80%は水分。水切りの必要性や、濡らさない・乾かす・しぼるを基本とした効果的な方法（水切りネットの活用等）をスーパー等での店頭啓発等で呼びかけ。

## マイボトル推進の取組 Reduce

**マイボトルスポット**

ペットボトルなどの飲料容器の使い捨てを減らしていくため、マイボトル活用のPRや、**マイボトルスポット**（マイボトルへのコーヒーなどの販売や、水などの提供を行うスポット）の周知を進めています。  
平成29年3月末現在の市内マイボトルスポットは322か所。

マイボトルスポットMAP

このマークが目印！マイボトル活用のための、積極的に活用されています。

## 簡易包装商品の推進・レジ袋等削減の取組 Reduce

**簡易包装商品の推進**

横浜市とイオン株式会社は、平成24年5月9日に包括連携協定を締結し、簡易包装商品（バラ売り・詰め替え商品等）の利用を進める取組を共同で行っています。

**レジ袋等削減**

株式会社スリーエフ・株式会社ローソンと連携して、コンビニエンスストアから出るレジ袋や割り箸等の削減に取り組んでいます。

## リユースの取組 Reuse

**リユース食器**

使い捨て食器の利用を削減するため、**繰り返し洗って再利用できる「リユース食器」**を、市のイベント（区民まつり等）に加え、自治会・町内会のイベント等での利用拡大を積極的に関わっています。

**リユース文庫**

市民の皆さんが不用になった本を自由にやり取りする「リユース文庫」を市内各所に設置しています。  
平成29年3月末現在51か所。

**リユース家具**

製品の繰り返し利用を促すため、**収集事務所や焼却工場、イベント等で粗大ごみ再利用品（家具類）**の提供を実施しています。

## リサイクルの取組 Recycle

**検索ツール・スマートフォンアプリ**

市民の方々に、より分かりやすく、より楽しくご家庭での分別について学んでいただけるようスマートフォンアプリなどの分別検索ツールを配信。

**資源物の分別の徹底**

燃やすごみに依然として含まれている資源物（古紙やプラスチック製容器包装など）について、分別が徹底されていない地域を中心に、住民説明会などの啓発・訪問指導を実施。

## 横浜市民のリデュース

人口50万人以上	
平成27年度	平成28年度
1. 東京都 八王子市 815.3 736/人日	1. 愛知県 松山市 813.0 734/人日
2. 愛媛県 松山市 817.0 736/人日	2. 東京都 八王子市 823.1 734/人日
3. 広島県 広島市 855.8 736/人日	3. 広島県 広島市 855.9 736/人日
4. 神奈川県 横浜市中区 866.4 736/人日	4. 神奈川県 横浜市中区 873.3 736/人日
5. 埼玉県 川口市 887.3 736/人日	5. 埼玉県 川口市 878.4 736/人日
6. 神奈川県 川崎市 884.0 736/人日	6. 静岡県 浜松市 885.1 736/人日
7. 京都府 京都市 894.3 736/人日	7. 神奈川県 横浜市中区 892.2 736/人日
8. 静岡県 浜松市 899.0 736/人日	8. 神奈川県 川崎市 893.5 736/人日
9. 神奈川県 横浜市中区 898.0 736/人日	9. 千葉県 船橋市 917.1 736/人日
10. 埼玉県 さいたま市 917.6 736/人日	10. 東京都 豊田市 920.1 736/人日

環境省が発表しているリデュース（1人1日当たりのごみ排出量）取組の上位10位市町村（50万人以上の都市）

横浜市民は全国的に見てもリデュースの取組にとても協力的！

出典：環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等（平成27年度）について」

## 市民の皆さまへお願いしていること

**資源ごみをより一層分別しよう**

リサイクル可能な紙やプラスチック製容器包装はきちんと分別を、分別が違ったら下記横浜市「み分別アプリ」を活用しましょう。

**マイバッグでレジ袋を削減しよう**

ご家族として使用されるごみや資源物に出されるレジ袋は、1週間あたり年間約200枚、不要なレジ袋や資源物削減しましょう。

**切った紙、剥った草は乾燥させておこう**

2日ほど乾燥させることで有効利用できます。袋に入れて早く乾燥させましょう。

横浜らしく、かっこよく、「もったいない」を楽しもう

**生ごみを出すときは、しっかりと水切りしよう**

水切りをすることでごみの量を約10%削減できます。白い清潔な布で水分を拭き取り、しっかりと水切りをしましょう。

**家庭での食品ロスを減らそう**

荷も手が付けられずに捨てられる食品は、毎朝9時～11時、買い物の際に食品ロスの削減を支援し、必要な分だけ買います。

**食べきり協力店で「食べ残し」を削減しよう**

飲食店などで食べ残しを削減するために、小袋メニューの購入などを行っている食べきり協力店が中大中、このステッカーが貼られています。



どのくらい捨てられてるの？

- 横浜市での「手つかず食品」廃棄量  
約 **2万** トン/年
- 日本人の米消費量  
**54.4** kg / 人 / 年  
(平成28年度概算)

→ 約 **37万** 人分の  
年間米消費量に相当

④豆製品 納豆 豆腐		①主食 パン おにぎり 生麺
②お菓子 チョコ あめ クッキー		⑤特売品 パン 肉・魚
		③野菜 もやし えのき 葉物 じゃがいも 玉ねぎ

どうしてごみに出されるの？ ~主食・お菓子~

大袋で買って  
食べきれず...

ごみに出さない工夫を！ ~主食・お菓子~

①買い過ぎない！

②保存方法を工夫しましょう！

イーオの豆知識 消費期限と賞味期限は違います！

**消費期限**  
安全に食べられる期限です。  
消費期限内に食べるようにしましょう。  
例) 長くは保存がきかない食品: 生肉・魚、パン、お弁当 など

**賞味期限**  
おいしく食べることができる期間です。  
ただし、賞味期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるとは限りません。  
例) 冷蔵や常温で保存がきく食品: ハム、チーズ、お菓子、缶詰など



**どうしてごみに出されるの? ~野菜~**

あっという間に...

まだ大丈夫と 思ってたけど...

**ごみに出さない工夫を! ~野菜~**

① 傷みやすい野菜は 食べきれるよう計画的に!

② 長持ちする野菜も 忘れずに!

計画的に食べましょう!

**どうしてごみに出されるの? ~特売品~**

**どうしてごみに出されるの? ~特売品~**

特売品を買ったら 期限を気にして 早めに食べましょう!

それと... 安いからって買い過ぎないで!

**「手つかず食品」を減らすひと工夫**


<p>買物に行く前に</p> <p>冷蔵庫の中身を チェック!</p> <p>↓</p> <p>買物リストを 作りましょう</p>	<p>お店で</p> <p>必要なものを 必要な分だけ</p> <p>食べきり サイズ</p> <p>消費期限・賞味期限 にも注意しましょう</p>	<p>家に帰ったら</p> <p>忘れず 計画的に 食べましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期限の迫っているものは見えやすい所に</li> <li>・消費期限・賞味期限を大きく書く</li> </ul>
---	--	--

**「手つかず食品」を出さない2つの鉄則**

買いすぎない

忘れない

「もったいない」の心を忘れず  
ひとりひとりが  
できることから始めましょう！



G30 のぞの先へ ヨコハマ3R夢! スリム


プラスチックごみをポイ捨てするとどうなるの？



ごみのポイ捨てはしないでね。

56

焼却工場（鶴見工場）  
について



「ヨハマ3R30」マスコットの「ミオ」  
「ヨハマ3R夢1」マスコットの「イーオ」

G30 のぞの先へ ヨコハマ3R夢! スリム

**鶴見工場は**

敷地面積 **61,053.9m<sup>2</sup>**  
(横浜スタジアムの約2.3倍)

着工 平成2年9月  
(1990年)

総事業費 約**518億円**

竣工 平成7年4月  
(1995年)

**三菱重工業製**  
焼却炉(400トン×3基)  
設備能力 1200トン/日  
通常(2炉運転) 800トン/日

工場職員数  
**86名(職員、アルバイト)**  
令和元年7月現在  
(2019年)

今、皆さんが鶴見工場へ来場していますが…

昔は、末広処分地でした。

つまり、海面埋め立て処分場です。

横浜市最初の焼却工場は…

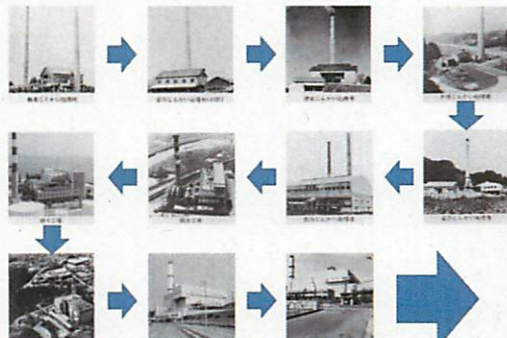
**昭和4年(1929年)**  
**滝頭じんかい処理所**



煙突高さ 47m

ごみ質が良い場合は360トン/20h

その後建設された焼却工場



令和元年現在の稼働工場

**都筑工場 昭和59年3月竣工 (1984年)**

**鶴見工場 平成7年4月竣工 (1995年)**

**旭工場 平成11年4月竣工 (1999年)**

**金沢工場 平成13年4月竣工 (2001年)**

**藤土ヶ谷工場 平成22年4月休止 (2010年)**



横浜市資源循環局 焼却工場見学会VTR

**Let's ヨコハマ3R夢!**  
～ごみ焼却工場編～

 **ごみを燃やした熱を利用して、電気を作っています (発電)**

**最大出力22,000kW**


**ボイラー**

約900℃の排ガスで蒸気を作っています

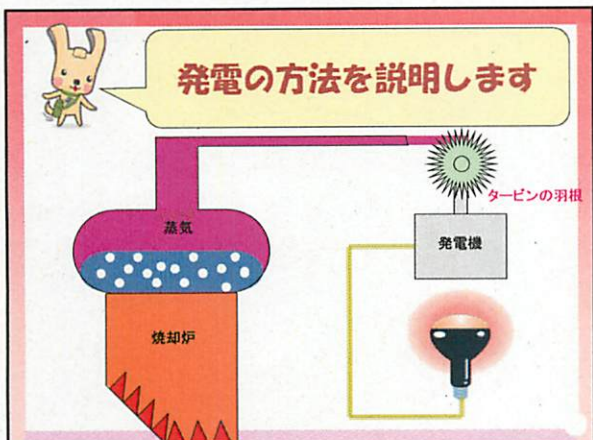
**蒸気タービン**

蒸気を利用して電気を作っています

**22,000kW = 約62,000世帯分**

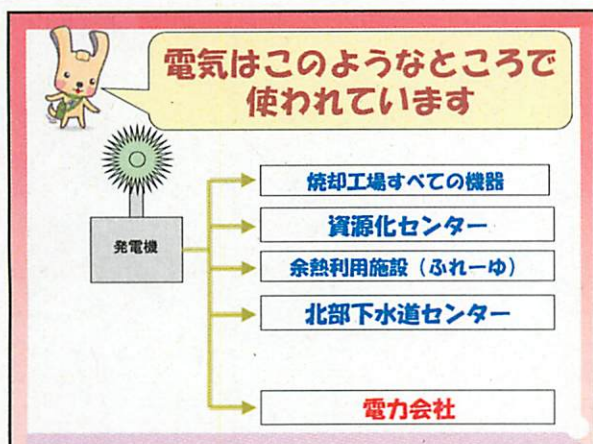


蒸気タービンの内部(羽根)



**ごみから電気が作れます！**  
**鶴見工場は、**  
**ごみだって無駄にはして**  
**いません！**

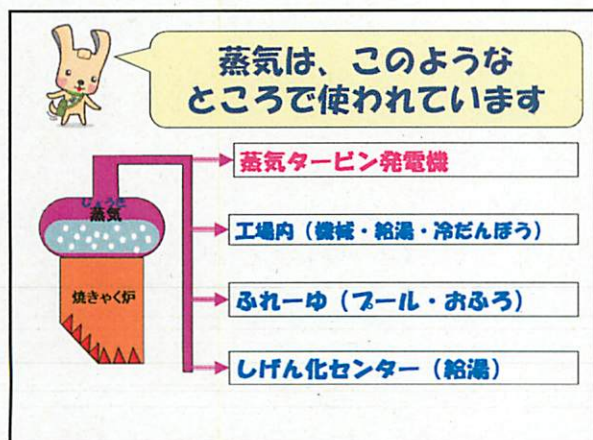
発電機



**しかも！作った電気を売ると、**  
**1年間で約7億7千万円**  
**にもなりました！**

(平成28年度)

発電機



**ご清聴ありがとうございました**  
**この後、工場内をご案内します**

その先へ ヨコハマ3R夢! スリム